

～図書館の利用について～

茂原市立図書館では三密(密閉、密集、密接)を避ける為、当面の間、段階的な開館とさせていただきます。

スタッフ対応について

- ・マスク、手袋着用によるカウンター対応
- ・フェイスシールド、手袋、マスクによる案内対応
- ・予約及び返却頂いた図書資料全てに対する次亜塩素酸ナトリウムと書籍消毒機によるクリーニング

利用者の皆さんへのお願い事項

- ・体調不良（発熱・咳・頭痛・強いだるさ・息苦しさ・味覚の異常・嗅覚の異常・その他の風邪症状）等の自覚がある方の利用自粛
- ・入館時のマスク着用、手指消毒、検温、来館者名簿記入の実施
- ・ソーシャルディスタンスの維持（整列入場・カウンター待ち順番など）



茂原市立図書館

開館時間 10時～17時

電話番号 0475-23-6151

発行 茂原市立図書館指定管理者
株式会社 図書館流通センター

PC・スマートフォン用ホームページ
<https://opac.library-mobara.jp>

携帯用ホームページ
<https://opac.library-mobara.jp/mobile>

スマートフォン用
QRコード



館内の一部を 模様替えしました！

授乳室を模様替えし、
明るくなりました。カ
ウンターでお声かけて
いただければ、利用で
きます。

児童コーナーにて、
『本とパパ・ママをつなぐ
コーナー』を作りました。
子育てに関する情報を展示
しています。

茂原市立図書館

定例行事のご案内

『おはなし会』 ※ 第1・2・4土曜日

日時：7月4日（土）、11日（土）、25日（土）

14時～14時30分

対象：3歳児以上

内容：絵本の読み聞かせ、紙芝居

『映画会』 ※ 第3土曜日

7月18日（土）

14時～14時30分

対象：3歳以上

内容：『スキーマのゴルフ 他』

『ショート託児サークル』

日時：7月7日（火）、14日（火）

10時～14時（受付11時）

対象：図書館カードをお持ちの方

内容：小さいお子様のいるご家庭に
楽しんでもらうため、お話を聞かせたり、

『赤ちゃんの会』

日時：7月21日（土）

対象：0～2歳児及び保護者

内容：手あそびうた、わらべうた

『絵本のよみかき会』 ※ 第3火曜日

14時（定員）10組

内容：絵本のよみかき会

火曜日は
赤ちゃんの日



新型コロナウイルス感染症
対策のため、一部の定例
行事は中止させていただきます。

いきいきシニアライフの展示



茂原市立図書館では、あらたにシニア向けの情報発信コーナー「いきいきシニアライフ」を作りました。テーマを「いきがい」「百歳」「健康」「料理」「回想」「認知症」「シニア向け絵本」に分けて、展示しています。

元気になる！前向きになる！クヨクヨしない！皆さんが明るい気持ちになるような本を、たくさん揃えています。

新型コロナウイルスで大変な社会状況ですが、この展示コーナーが皆さんの気持ちの支えとして、少しでもお役に立てれば嬉しいです。

～ノンフィクションの絵本の展示～



茂原市立図書館の児童コーナーでは、ノンフィクションの絵本の展示を行っています。何年か前からノンフィクションの絵本が出版されることが多くなり、皆さんも手にとられた事があるかと思われます。「ノンフィクション」は実際にあったことが書かれています。この「実際にあったこと」は、子どもたちの心に直接訴え、響く力があります。これらの絵本を通し、環境問題、貧困、自然、地球などのことを考えるきっかけになれば幸いです。

～編集後記～

これからもっと暑くなる季節ですね。感染症予防の為マスクをつけている人もいますが、熱中症対策も大切です。水分をとり、涼しい場所で過ごしましょう。(く)

今月のおすすめ本

一般書



皇紀・万博・オリンピック

西暦1940年、天皇即位から2600年たったとして、政府は橿原神宮の整備、万博博覧会開催、オリンピック招致などを計画した。国威発揚と経済発展を目指した計画の実行過程を検証し、戦後に残る遺産や影響も考える。

2167 古川 隆久著 // 吉川弘文館

一般書



驚くほど耳がよくなる! たった10秒の「耳トレ」 大活字版

「耳が遠い」「聞こえが悪い」は9割治る! 耳だけでなく全身からアプローチする、1回たった10秒の耳トレを紹介。“腸力”を高めて「聴力」をアップするなど、中医学に基づく効果的なメソッドも伝授する。

496.60 今野 清志著 // SBクリエイティブ

小説



ザリガニの鳴くところ

家族に見捨てられながらも、広大な湿地でたったひとり生きる少女に、ある殺人の容疑がかかり…。みずみずしい自然に抱かれて生きる少女の成長と不審死事件が絡み合い、思いもよらぬ結末へと物語が動き出す。

933.7オ ディーリア・オーエンズ著 友廣 純訳 // 早川書房

児童



希望の図書館

新しく越してきたシカゴの町で、大きな図書館をみつけたラングストン。そこで、自分と同じ名前の詩人が書いた本と出会い…。読書の喜びを通じて、小さな自信と生きる勇気を手に入れていく少年の物語。

93ク リサ・クライン・ランサム作 松浦直美訳 // ホプラ社

児童



朔と新

「伴走者になってもらいたいんだ」事故で視力を失った兄・朔は、走ることをやめた弟・新に告げる。かくして兄と弟は、一本のロープを握り、コースへと踏み出してゆく。ブラインドマラソンは、兄弟の絆をつなぎ止めるのか。

913I いとうみく著 // 講談社

絵本



虫ガール ほんとうにあったおはなし

小さい頃から虫に夢中のソフィア。でも、虫が好きなことでいじめにあい、一旦「虫をお休み」することに…。小学生の「虫ガール」が、これまでのことを語った絵本。好きなことを貫く難しさ、それを乗り越える過程と成長を描く。

Eソフィア スペンサー文 マーガレット マクナマラ文 ケラスコエット絵 // 岩崎書店